

【出席率】 会員56名中43名
【先々週の出席率】 83.02%
【ヴィジター】
三条北RCより 梨木建夫君
米山奨学生 タキ・コフィ・アルフォンソ君
【先週のメイクアップ】
1/27 三条北RCへ
星野健司君 野島廣一郎君 若井 博君



会長挨拶

吉井 正孝 会長



こんにちは。
今日は三条北クラブから梨木さん、そして今日の卓話をお願いする米山奨学生のタキ君、ようこそおいでくださいました。最後までごゆっくりお過ごしください。

本日の例会は、いろいろと行事が立て込んでいた為、早めに始めさせて頂きました。食事をしながら、お耳だけ拝借いたします。

さて久しぶりに「今日は何の日」から始めようと思います。

1954年（昭和29年）の今日、東京からサンフランシスコへ戦後最初の国際線が就航した日だそうです。戦後初めて開設された国際航空路として、日本航空の東京～サンフランシスコ線が運行を始めました。第1便のシティ・オブ・トウキョウ号（DC-6B）の乗客は21人でしたが、そのうち有料客は僅か5人でした。ちなみにサンフランシスコまでの片道航空運賃は、当時のお金でひとり23万4千円。とても庶民には手の届かない高価な乗物だったようです。

さて私は昨日の日曜日、岩室の日帰り温泉施設「だいろの湯」に行ってきました。

私と鈴木幹事、坂井親睦委員長と委員の皆さん。そしてプログラム委員長の大原さんと9名で参加。4月の当クラブ「旬例会」の下見を兼ねたものでした。例年の旬例会は「月曜日夕方の出発」。その為、せっかく温泉に行っても景色も見えず、温泉にも入れない方もおられるので、思い切って「日曜日の朝出発」という計画で今年はやって見よう・・・というもの。

朝10時、市役所前を施設のマイクロバスで出発。



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三 条 南]
第4分区AG 古 井 辰 禱 [吉 田]
会 長 吉 井 正 孝
幹 事 鈴 木 圀 彦
S A A 野 中 悟

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内
☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL <http://www.sanjo-minami.jp>

30～40分で現地に到着。その後、担当者と打ち合わせ。真正面に弥彦山を臨む眺望抜群の昼食会場の大広間も見学の後、ゆっくり入浴……。その後はたっぷり2時間、昼食兼懇親会を楽しんできました。帰りも施設のバスで途中地元の酒蔵「宝山酒造」にちょっと立ち寄り三条へ……。午後2時30分頃戻りました。4月の本番当日は、往きに弥彦神社、宝山酒造に立ち寄って「だいろの湯」に向かう予定……。との事。お湯よし、酒よし、食事よし……。とにかく楽しい「旬例会」になると思います。近々、親睦委員会から、ご案内が出ると思います。奮ってご参加をお勧めします。今年の旬例会は、「4月12日（日曜日）」です。今から予定に入れておいて頂ければ幸いです。今日の会長挨拶はこの辺で……。

表彰

吉田 秀治 会員 ロータリー財団 マルティプルフェロー
(累計7,000\$・一粒ルビーのバッチが贈られました)

大久保秀男 会員 ロータリー財団 ポールハリスフェロー
(メダルと証書が贈られました)

幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

●馬場ガバナー事務所より

- ① 第2回米山奨学委員長セミナー 開催のご案内
日 時 2009年 2月14日(土) 12:00～16:00
会 場 三条ロイヤルホテル
義務出席者 今年度、次年度米山奨学委員長
- ② 第2回ロータリー財団セミナー 開催のご案内
日 時 2009年 2月22日(日) 12:00～16:00
会 場 三条ロイヤルホテル
- ③ 2560地区ローターアクト地区年次大会 開催のご案内
日 時 2009年 3月 8日(日) 9:30～
会 場 学生総合プラザ STEP

●植木ガバナーエレクト事務所より「会長・幹事エレクト研修セミナー」開催のご案内

日 時 2009年 3月14日(土) 9:30～17:30
会 場 メトロポリタン松島

●2009～2010年度第4分区米山忠俊アシスタントガバナー(三条北RC)より「第4分区次年度会長会議」開催のご案内

日 時 2009年 2月17日(火) 17:00～
会 場 三条ロイヤルホテル

ヨコボックス

～・ 2月 2日 12,000円 今年度累計 652,000円 ・～

- 吉井君 南クラブ吉例の新春俳句会では武藤先生に大変お世話になりました。有難うございました。タキ君、卓話ご苦労さまです。今年も頑張って勉学に励んでください。
- 鈴木(圀)君 武藤先生、御苦労さまです。タキ君、本日の卓話よろしくお願ひします。
- 吉田君 新年会の写真、小生小さく(一番奥で体も小さい)わかりません。いよいよ影が薄くなってきたなあ……。
- 佐藤(栄)君 今年も十二分の一年が過ぎ、残るは十二分の十一年になりました。
- 広岡君 先週は大変賑やかな新年会にいただきました。皆様に厚く御礼を申し上げます。
- 坂本君 タキ君の卓話をお聞きしたいのですが、都合で早退させていただきます。スママセン!
- 丸田君 都合により早退します。
- 渡邊(光)君、馬場(一)君、田中(悧)君、安達君 BOXに協力致します。
- 西巻君 タキ君、卓話ご苦労様です。誕生祝いありがとうございます。73回目です。BOXへのご協力にお礼申し上げます。



「私の国 コートジボアール」

米山奨学生

タキ・コフィ・アルフォンソ君

Taki koffi Alphonse

西アフリカのコートジボアールという国から留学して来ています。

コートジボアールを皆さんご存知ですか？ ギニア湾に面した共和国で、東はガーナ、北はブルキナファソ、マリとギニアがあり、そして西はリベリアと国境を接します。「象牙海岸」と言えば分かりますか？ 5 世紀ころからヨーロッパ人がギニア湾のこの地域から多くの象牙を輸出していたことからこの地域の沿岸を象牙海岸、フランス語でコートジボアールと名付けたことに由来しています。



17 世紀半ばに、フランスが西アフリカ経営に乗り出し、1893 年にフランスの植民地となりました。1960 年 8 月 7 日にフランスより独立し、ウフェボワニという人が最初の大統領になりました。

コートジボアールの面積は、32 万 2460 平方キロメートルで日本の約 9 割、人口は東京都の人口の 6 割に当たる 2,000 万人です。南は熱帯雨林地帯、北はサバンナ地帯があり、気候的には対照的です。南部の熱帯雨林地帯では 5 月から 8 月までと、10 月から 11 月までと 2 回の雨期があります。北部では、6 月から 10 月までと日本に比べると長い雨期があります。季節は、一年中夏と言えるくらいです。沿岸では湿度が高く、気温は年間を通じて 24℃～28℃ありますが、北部サバンナでは、最低 14℃、最高 35℃を超え、寒暖の差が大きくあります。

コートジボアールへより平和で豊かな地域を求めて、長い年数をかけてあらゆる場所から多くの民族が移住してきたそうです。コートジボアールは 60 以上の民族からなっています。民族の交差点とも呼ばれ、文化的に豊富な国です。もともとは民族ごとにそれぞれ信仰する宗教があったのですが、最近ではイスラム教 35%、キリスト教 25%が占めるようになってきました。言葉も、公用語はフランス語ですが、それぞれの民族が今でも自分たちの民族の言葉を使っています。コートジボアールの民族は、お互いの言葉が分からなく、宗教が違っても民族間の同盟をし、昔から平和的に暮らしてきました。

独立以来、コートジボアールは、1999 年まで対外戦争やクーデターの経験もなく、文民政権を維持してきました。さらに、民族間や宗教間などの結婚が起こり、お互いの関係が深くなり、国造を進めてきました。しかし、1999 年からクーデターが頻繁に起き、2002 年に北部の地域が反政府の支配下に置かれました。2007 年から反政府のリーダーが首相になり、現在は比較的平和な治安になっています。

また、混乱するコートジボアールに希望をもたらしているのがサッカーの躍進です。サッカーは、コートジボアールにとって他のスポーツとは比較にならないくらい重要な地位を占めています。そのサッカーで、最近、世界的に有名な選手が次々に輩出されて、ワールドカップの出場も果たしています。

フランスから独立後、1960 年代と 1970 年代を通じて、コートジボアールの経済は急速に成長をしました。「象牙の軌跡」とも呼ばれたこの高度成長の要因は、コーヒーとココアなど熱帯産品の生産と輸出の増加、そして、主に外国資本による急速な工業化でした。

私は日本に来て大変驚いたのですが、日本の皆さんにはコートジボアールよりガーナの方が有名だったということです。それは、日本に「ガーナ」という名前のチョコレートがあるからだと後で知りました。実は、コートジボアールは、世界最大の 카카오 産地で、世界全体の 43%の 카카오 を作っています。外国資本による工業化は輸出産品の加工、繊維産業などの輸入消費財の代替、最終加工など軽工業を中心に年率平均 15%という急速な成長を持続してきました。一人当たりの国民総所得も他のアフリカ諸国と比べて非常に高かったです。

経済成長が豊かに栄えることに引き寄せられて、様々な外国人が流入し居住しました。その第一は周辺諸国から労働者として流入してきたアフリカ系外国人であり、その数は約 200 から 300 万人と推計されます。第二には外国資本とともに流入してきたフランス人や他のヨーロッパ人、その数は 5 万以上と言われています。そして、その第三は商人として流入してきたレバノン人やシリア人などアラブ系の外国人、その数 15 万人と推定されます。その外国人は総人口のおよそ 25%の割合を示しています。世界で一番高いです。80 年代には国際市況の悪化のため、コーヒー、ココアの輸出が伸び悩み、経済は

一つの転機を迎えました。立ち直す方法として、コーヒー、ココアといった主産業以外の天然ゴム、イモ類、石油の生産を始めました。しかし、いつまでも自然資源に頼れないため、食品加工や石油製品や医薬品といった工業化の動きも盛んになっています。コートジボアールは半導体やIT（ソフト開発）を中心とした工業製品の加工組立基地と医療機器や医薬品の開発といったバイオ産業の拠点になることを目標にしています。2008年から『VITIB : Village des nouvelles technologies de la information et de la biotechnologies (ITとバイオの村)』という強大な国家プロジェクトが設立されました。国内のエンジニアや科学者の物づくりと発明力を促進するとともに、世界有数の医薬品メーカーやIT関係企業がコートジボアールで大規模なバイオメディカルと情報技術拠点を設置し、競争的な環境を作る計画です。この地域で会社を作る人々は、安い資源と安くて優秀な人材を手に入れられ、3年間税金を払わなくても良いというお得なポリシーがあります。ロータリーの皆さんもぜひこのチャンスにコートジボアールでビジネスをしてはいかがでしょうか？！今のアフリカは戦争や病気などの点で不安要素もありますが、2020年か2030年あたりから世界経済に欠かせない存在になるだろうと言われています。

私が日本へ留学するきっかけになったのは、高校生の時でした。私の生命学の先生が、1987年に日本人初のノーベル生理学・医学賞が授与された利根川進先生の論文を読み、そして彼の研究と日本文化について幅広く説明してくれました。利根川進先生は、分子生物と免疫のバックグラウンドを生かして遺伝子工学的な手法による抗体生成に関する免疫グロブリンの構造を解明しました。それを聞き、幼い心が好奇心にあふれ、いつか私もぜひ日本へ行って分子生物学を学んで人間の役にたつ研究をし、アフリカ全体を誇りに思っている人になりたいと思いました。また、日本人の物づくり能力や技術力をしっかり学び、若い世代を育てたい気持ちでいっぱいです。私は、アフリカの明るい未来を強く信じ、そして重要な役割を果たしたいです。

ご静聴ありがとうございました。

馬場ガバナー月信をお届け致します



月信

国際ロータリー第 2560 地区
 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560
 2008-2009 年度 1月号 Vol.7



2008-09 年度 第 2560 地区クラブ紹介



加茂 RC
塚野 一二三 会長

日々一歩前進

加茂クラブは2011年度に50周年を迎えます。

古参なのですが新しい風が吹いている和やかなクラブです。

世界の国々から情報や物品がたくさん搬入されている現在、今迄以上に情報の周知が必要だと思います。

クラブリーダーシッププランを取り入れ、米山奨学金の増額に努めております。

例会が楽しみになる、そんな加茂ロータリーを目指しております。



会長メッセージ

三条南ロータリークラブの会長をお引き受けして半年が過ぎようとしています。

2560 地区ガバナー輩出クラブと言う事で、年の前半は前年度から継続準備の「PETS」に始まり、「地区協」、当クラブの「40周年」「地区大会」と、矢継ぎ早に大事業の連続でした。この間、会員諸兄には、二足三足のわらじで随分頑張って頂きました。

そして迎えたこの師走 22 日は、馬場ガバナーの古巣 わが南クラブの「公式訪問」。地区全てのクラブ行脚が終わって最後の公式訪問と伺っております。当日は公式訪問に併せて、「忘年家族会」も予定されております。「これで終わった訳ではない」と、自分に言い聞かせながら、「祭りのあと」の一抹の寂しさや、若干「燃えつき症候群」気味の自分自身にハッパをかけながら、あと半年・・・ガンバります。



三条南 RC
吉井 正孝 会長